



報道関係者 各位

宮城県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

宮城県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

記者発表資料

平成22年3月26日

保健福祉部疾病・感染症対策室結核感染症班

担当：佐藤・伊藤（内2632）

保健環境センター微生物部

担当：御代田（022-257-7228）

オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を示す新型インフルエンザウイルスについて

新型インフルエンザの患者1名から、タミフル耐性の新型インフルエンザウイルスが確認されましたのでお知らせします。

概要等については以下のとおりです。

1 検査結果

平成22年3月12日 宮城県保健環境センターの遺伝子解析の結果、オセルタミビル耐性を示すH275Y（遺伝子変異）を確認。

3月24日 国立感染症研究所にて薬剤感受性試験を行った結果、オセルタミビル耐性、ザナミビル（商品名：リレンザ）感受性を確認。

2 患者概要

- ・石巻市内在住の9歳男児
- ・基礎疾患：なし

3 経過

平成21年10月26日 発熱（38度）

10月27日 石巻市内の医療機関を受診。インフルエンザ迅速検査を実施したところ、A型（+）。

リレンザ処方。服用後、解熱し快復。

10月30日 保健環境センターのPCR検査の結果、新型インフルエンザ（A/H1N1）と確定。

4 その他

- ・厚生労働省によると、タミフル耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。
- ・患者の周囲へのタミフル耐性を疑う感染も確認されていません。
- ・全国でタミフル耐性が確認されたのは、今回の事例で67例目です。